

ウラジオストク滞在に関する報告について（9月分）

1. ロシア語学校について

9月の下旬より各国から新たに多くの学生さんたちが連邦大学に留学してきました。もちろん日本からも交換留学や自費留学で極東連邦大学に来られた学生さんもいます。極東連邦大学は函館に分校を持っており、極東連邦総合大学函館校からは12月までの3ヶ月間の予定で8名の日本人学生が短期留学しています。

2. ウラジオストク市内の状況について

・治安状況

当地で日本人が犯罪に巻き込まれたという情報はありません。

・気 候

9月に入り天気は青空が広がる快晴の日が多いです。しかし徐々に肌寒くなってきているのを感じており、夜はもうすっかり寒くなってしまいう日もあります。

3. ウラジオストク内の行事について

●東方経済フォーラム（9月11日～14日）

ウラジオストクでは2015年より毎年9月に東方経済フォーラムがルースキー島の極東連邦大学で行われ、今年も昨年に引き続きロシアのプーチン大統領や日本の安倍首相も出席しました。このフォーラムでは各国から有識者が集まり、ロシアとの経済・医療・投資面などの様々な分野での協力の在り方について話合われます。参加者は会談中の会議室を回ることができ、私もいくつか見学してきました。シベリア鉄道の利用促進や、日本の医療機関との協力関係の将来的なビジョン等が話し合われ、今後のロシア、特に沿海地方の可能性を感じました。



(写真1：経済フォーラム様子)

●ウラジオストク国際マラソン（9月22日）

今回で3度目となるウラジオストク国際マラソンが9月22日（土）に開催されました。このマラソンでは5キロ、ハーフ、フルマラソンの3種類の距離が設定されています。また、子供用で1キロのコースも用意されており、家族で参加する方も多いようです。ウラジオストクのシンボルともなっている黄金橋は、普段は歩行者の立ち入りが禁止されていますが、この日は黄金橋もマラソンコースに入っており一年で黄金橋を徒歩で渡れる唯一の機会となっています（昨年度までは5月の祝日に行進パレードがされていましたが、今年から黄金橋でのパレードはなくなってしまいました）。

フルマラソンはルースキー島からスタートし、極東連邦大学の横や黄金橋を渡り、市内の中央広場がゴールとなります。今年は残念ながら天気が悪く、スタート時から強い雨が降っていました。またウラジオストク市内は坂道が多くアップダウンが激しい地形であるため、マラソンコースとしての難易度は高いようです。休憩所のボランティアの皆さんのお手伝いや、雨にも関わらず道中で応援していただくさんの人々のおかげもあって、悪天候にも関わらずマラソン大会は大きな盛り上がりを見せていました。



(写真2：マラソン様子)

●トラの日パレード（9月30日）

ウラジオストクの市旗にはアムールトラが描かれおり、虎はウラジオストクの象徴となっています。アムールトラは極東ロシアやシベリアに生息する大型のトラで絶滅危惧種となっています。アムールトラの保護を目的としたパレードは1990年ごろに始まり、2001年に公式イベントとなりました。毎年、盛り上がりを見せており、今年も市内でパレードが行われました。このイベントのパレードでは顔に虎のペイントをしたり、虎柄の服を着た人たちが市内の通りを行進します。



(写真3：トラの日 行進パレード)